

2017 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2018 年度分)

団体名	社会福祉法人 月の輪学院
	
	

① 目的や動機

社会福祉法人月の輪学院は、①福祉型障害児入所施設（定員 45 名）、②障害者グループホーム（5 ホーム、定員 28 名）、③認知症高齢者グループホーム（1 ホーム 定員 9 名）の施設があり、これら施設の利用者の中には病気を持っていたり、社会適応がうまくいかなかったり、体力が弱い方がおられます。そのため法人では命を護るための対応が求められており、その一つとして AED の導入を決めました。

② 活動の実施方法や内容

法人の全職員が緊急な場合に躊躇なく、AED を救命に活用できるようにするため、年 1 回は AED の使用訓練を経験すること、及び AED についての基礎知識を得られるようにしました。

併せて、法人内にはセコムとリース契約を結び、平成 28 年 9 月より AED を設置しました。

③ 活動で得られた成果

AED を導入し、使用を経験することで、命の大切さや危機意識の醸成に貢献できたのではないかと感じています。また、一番大きかったことは、緊急な場合は、救急車を呼ぶだけでなく、救急車が来る前の救命措置が命を救う大きな手段であることが職員の中に浸透していったことだと思います。

AED の訓練の対象者を法人職員にしていますが、H29 年度に寝屋川市仁和寺地区の福祉委員を対象に実施することができました。今後に課題として、地域の方を対象に広げていきたいと考えています。また、当施設に設置している AED を緊急な場合、地域に貸し出すこと、当法人の職員が支援することも職員間で話し合っています。

ご支援有難うございました！